

第7期の施策評価

評価(A～Dの4段階)
 A: 目標達成率100%以上
 B: 目標達成率80%以上
 C: 目標達成率80%未満
 D: 未着手・未実施

目標活動指標
 ・数値目標を立てることができなかった事業について、斜線を引いています。
 ・第7期の計画書に目標値が記載されていない事業について、独自に設定した目標値を記載している場合があります。
 ・より適切に評価を行うため、第7期の計画書に記載された目標値とは別の目標値で評価している事業があります。

〈見方〉

基本方針1 地域包括ケアシステムの充実・強化

1-1 多様な連携による地域包括ケアシステムの推進

(1) 在宅医療・介護連携の推進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標			目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2		
① 地域の医療・介護の資源の把握	地域の医療機関、介護事業所の機能等について情報を収集し、整理した上で、事業者ガイドマップや「電子@連絡帳(つながるまい津島)」等で共有し、他の事業へ活用します。	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて、地域の医療介護連携ワーキンググループが4回実施されました。	C	津島市民病院をはじめとした、海部医療圏の地域包括ケア病棟について、ケアマネジャーの認知度が十分ではないと思われることから、センターにて説明会の形で情報提供していくことを正式に取り組むこととなりました。国立長寿医療研究センター主導で開催された、地域コミット型研修会への対応と事後処理にワーキングの時間が割かれてしまったこと、診療報酬の改定が行われたこともあり、年度内の実施が出来ませんでした。	一部修正	目標				
						実績				

第8期の方向性
 継続……………第7期の事業を継続
 一部修正………第8期からは、他の施策と統廃合等を行う
 廃止……………第8期からは廃止

基本方針 1 地域包括ケアシステムの充実・強化

1-1 多様な連携による地域包括ケアシステムの推進

(1) 在宅医療・介護連携の推進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2		
① 地域の医療・ 介護の資源の 把握	地域の医療機関、介護事業所の機能等について情報を収集し、整理した上で、事業者ガイドマップや「電子@連絡帳(つながるまい津島)」等で共有し、他の事業へ活用します。	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて、地域の医療介護連携ワーキンググループが4回実施されました。	C	津島市民病院をはじめとした、海部医療圏の地域包括ケア病棟について、ケアマネジャーの認知度が十分ではないと思われることから、センターにて説明会の形で情報提供していくことを正式に取り組むこととなりました。国立長寿医療研究センター主導で開催された、地域コミット型研修会への対応と事後処理にワーキングの時間が割かれてしまったことと、診療報酬の改定が行われたこともあり、年度内の実施が出来ませんでした。	一部修正	目標				
② 在宅医療・介護 連携の課題の 抽出と対応策の 検討	「あんしんネットつしま」を始めとした、地域の医療・介護関係者が参画する会議にて、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出や対応策の検討を行います。	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて、地域の医療・介護連携ワーキングが4回、連携強化(居宅)ワーキングは、居宅介護支援事業者連絡会に名称を改め4回開催されました。	B	年度当初から検討されていた課題抽出について、国立長寿医療研究センターからの依頼によって急遽行われることとなった、国立長寿主導による地域コミット型研修会(愛知県地域包括ケア指標をベースとしたもの)や、当該年度中に愛知県医師会から依頼されて作成した評価指標の分析(あまさぼにて実施)にて課題抽出が行われました。	一部修正	目標				
						実績				

(1)在宅医療・介護連携の推進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2			
③ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	地域の医療・介護関係者の協力を得て、津島市民病院等と連携を図りながら、災害時の対応を含め、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進します。	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて、在宅医療提供体制ワーキングが4回開催されました。災害時の仕組みについて、前年度実施した電子@連絡帳による机上通信訓練に実働を加えた訓練を10月に実施するために事業所へ協力を依頼し、準備を行いました。	B	長期休暇時の看取り当番体制について、今年度も継続し、直近である年末年始に向けて円滑に実施できるよう体制についての調整を行いました。褥瘡ケアサポートチームについては、運用を通して現れた改善点について改善をすることができました。見取り当番体制や褥瘡ケアサポートチームについては、ワーキング毎に直近の運用結果の振り返りができています。電子@連絡帳による机上通信訓練については、協力していただける事業所の確保が出来、円滑に当日実施できるよう、事業所からの意見の吸い上げを含めた打ち合わせ等を十分に行うことが出来ました。	一部修正	目標					
④ 在宅医療・介護関係者の情報の共有支援	「電子@連絡帳(つながるまい津島)」等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援するとともに、在宅看取り、急変時対応、災害時にもその情報を活用します。	電子@連絡帳のサービス提供元の移行に伴い、利用している事業所向けにアンケートを実施しました。災害マッピングについて、居宅介護支援事業者連絡協議会にて周知を行うと共に、海部医療圏の他の市町村に対しても、実施状況の情報提供を行いました。医療的要援護者(災害マッピング)について、医療救護所の立ち上げ訓練と合わせて通信訓練を行いました。利用者登録数の促進のため、退院時のカンファレンスでの提案をしていけるよう居宅支援事業所連絡会へ依頼しました。	B	訓練を通して、事前に準備をしなければならぬことや支援者自身も被災して対応できない場合など災害時での対応を考えるよい機会となりました。	一部修正	電子@連絡帳システム ①導入事業所数 ②登録患者数	目標	①146 ②102	①213 ②123	①234 ②135	①92.96 ②91.87
						実績	①196 ②112	①198 ②113			

(1)在宅医療・介護連携の推進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
⑤ 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	専門職を配置した、在宅医療・介護連携に関する相談窓口を設置・運営し、医療・介護関係者を支援します。	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて、月に相談の報告書をまとめ、市や医師会などに報告を行いました。 年度末時点の相談件数133件	A	相談内容については、センターより毎月内容種類別に報告を受けています。相談件数は目標件数を上回っており、他の海部市町村と比較しても多い状況です。	継続	津島市内相談件数	目標	50	75	100	177.33%
						実績	99	133			
⑥ 医療・介護関係者の研修	地域の医療・介護関係者を対象とした研修等(「あんしんネットつしま」による事例検討など)への参加・開催を通じて、顔の見える関係づくりや相互理解を促進していきます。	「あんしんネットつしま」による事例検討会を3回開催しました。 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて医療介護関係者の研修ワーキングが3回開催され、スマートケアやACP等に係る研修会は計7回開催しました。	A	共同開催で予定されていた3月14日の研修については新型コロナウイルスの影響により中止することとなりましたが、目標値を上回り、多くの方に参加していただき、顔の見える関係を築き、多職種による連携が図れました。 事例検討会：164名 スマートケアやACP等に係る研修会：125名	継続	研修参加人数	目標	200	250	300	115.60%
						実績	315	289			
⑦ 地域住民への普及啓発	在宅医療や介護サービスの普及啓発を目的とする地域住民を対象としたイベントを開催し、市の広報、ホームページ等で情報提供を行います。	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターにおいて、地域住民への普及啓発ワーキングを2回開催しました。	C	普及啓発講演会の津島市民の参加者は21人でした。	継続	普及啓発イベント参加者数	目標	50	50	50	42.00%
						実績	101	21			
⑧ 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	海部医療圏(7市町村)での情報交換を定期的を実施し、連携のための新しい協議体の設置等、広域連携が必要な事項について検討します。	運営委員会は年度末時点で2回開催。センターの今年度の事業計画の進捗管理と来年度の事業計画についての検討を行い、海部津島7市町村で合意形成をはかりました。	A	運営委員会を開催するに当たっては、日常的な連携は担当者間で電子@連絡帳で行いながら、課長級で協議が必要な内容については、協議の上で開催が来ています。	継続	海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター運営委員会開催回数	目標	2	2	2	100.00%
						実績	2	2			

(2)地域包括ケアシステムについての理解の促進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 「地域ケア会議」の充実	個別の事例検討を通して地域支援ネットワークの構築や地域の課題について検討し、地域包括ケアシステムを促進します。	地域ケア個別会議回数 120回 地域ケア推進会議回数 25回	C	目標値を大幅に下回るものの、地域ケア個別会議において挙げた地域課題の整理方法及び、地域ケア推進会議への提言方法について市職員及び地域包括支援センター職員、その他介護関係者(介護予防施策検討チーム員)で共有することができました。	継続	地域ケア会議の開催回数	目標	325	350	375	41.43%
						実績	46	145			
② 地域包括ケアシステムについての啓発	津島市における地域包括ケアシステムについての共通理解を促す啓発を行います。	地域包括ケアシステムについて啓発するため、昨年度に引き続き、民生委員の会議や地域のコミュニティに出向き、出前講座など4月から9月までに5回開催しました。講座内容について、ACPを含めたものに修正し、より分かりやすいものに変更しました。	B	市民が知りたい内容や興味がありそうなことを講座の中に取り入れ、講座内容の充実を図りました。講座を受講することで、地域のことや自分自身のことを考えるきっかけ作りができました。月1回程度の講座を目標としていたが、達成することができませんでした。参加者のアンケートでは、講座内容について満足、おおむね満足したという回答をいただきました。	継続	地域包括ケアビジョンの啓発回数	目標	6	4	2	25.00%
						地域包括ケアシステム啓発の講座の開催回数	目標	4	6	8	150.00%
						実績	5	9			

(3)多職種連携による地域包括ケアの推進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 津島市医歯薬 介護連携推進協 議会（あんし んネットつし ま）	津島市における保健・医療・福祉サービスを中心とした地域連携のネットワークづくりを推進し、住みよい地域社会を実現するため、地域連携フォーラムや事例検討会、連携プロフィール帳などの活用により、地域の課題を把握し、関係機関との連携を円滑に行います。	事例検討会を7月、9月、翌2月の計3日実施しました。第1回64名、第2回55名、第3回45名参加。地域連携フォーラムを11月に開催。50～70代中心とした地域住民、医療関係、介護関係者等176名の参加。	B	医療と介護関係者の顔の見える関係づくりを行い、地域連携のネットワークづくりを推進しました。地域連携フォーラムでは、講演会に知名度のある講師を依頼したため、多くの地域住民の参加があった。後半には、カードゲームを使い、終活について考えるきっかけづくりとなりました。事例検討会では、多職種で支援するネットワークの重要性、在宅連携の方法、それぞれの役割など理解を深めました。	継続	地域連携フォーラム・事例検討会等の参加者数	目標	350	400	450	85.00%
						実績	270	340			
② 「電子@連絡帳（つながるまい津島）」による多職種連携	重度化予防を含めたより質の高い医療、介護サービスを提供するため、ICTを利用した情報共有システム利用の拡大に向け、登録・利用勧奨を行います。	電子@連絡帳のサービス提供元の移行に伴い、利用している事業所向けにアンケートを実施しました。災害マッピングについて、居宅介護支援事業者連絡協議会にて周知を行うと共に、海部医療圏の他の市町村に対しても、実施状況の情報提供を行いました。医療的要援護者（災害マッピング）について、医療救護所の立ち上げ訓練と合わせて通信訓練を行いました。利用者登録数の促進のため、退院時でのカンファレンスでの提案をしていけるよう居宅支援事業所連絡会へ依頼しました。	B	アンケートの実施結果については、集計して報告を行うと共に、サービス提供元と打ち合わせを行い順次対応していただけることになりました。訓練を通して、事前に準備をしなければならぬことや支援者自身も被災して対応できない場合など災害時での対応を考えるよい機会となった。	継続	電子@連絡帳システム ①導入事業所数 ②登録患者数	目標	①146 ②102	①213 ②123	①234 ②135	①92.96 ②91.87
						実績	①196 ②112	①198 ②113			

(4)地域包括支援センターの機能強化

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 介護予防・日常生活支援総合事業の充実	「介護予防・生活支援サービス」の実施において、自立に向けた支援内容となるよう、介護予防ケアマネジメントの確立に向けた体制の整備を進めます。	介護予防ケアマネジメント勉強会 2回開催 参加者 105名 内容 ・介護予防ケアマネジメント会議について ・介護予防ケアマネジメント会議の模擬ワーク 2回目を3月に実施予定で調整していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。	B	介護予防ケアマネジメント勉強会の1回参加者数は目標をほぼ達成しております。	一部修正	勉強会参加者数	目標	60	70	80	150.00%
							実績	76	105		

(4)地域包括支援センターの機能強化

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
② 包括的支援事業の実施	従来の地域の高齢者の相談を受ける「総合相談支援業務」、虐待の早期発見等を図る「権利擁護業務」に加えて、地域ケア会議の充実、退院前のカンファレンス(会議)、在宅医療・介護連携、認知症施策を加えた包括的支援事業の実施体制を整備します。	総合相談件数 880件	C	全ての項目において目標値を下回っています。	継続	総合相談支援事業 総合相談件数	目標	1,200	1,300	1,400	67.69%
		実績					894	880			
		地域ケア会議の開催回数				目標	325	350	375	41.43%	
						実績	46	145			
		権利擁護事業 ①成年後見制度等相談件数 ②高齢者虐待相談件数 ③消費者被害相談件数				目標	①10 ②15 ③3	①10 ②20 ③4	①10 ②25 ③5	①20.00% ②25.00% ③0%	
						実績	①4 ②21 ③1	①2 ②5 ③0			
		オレンジサポーターの会員数				目標	200	250	300	58.40%	
実績	144		146								
認知症高齢者見守り事業 ①認知症サポーター養成講座実施回数 ②参加延べ人数	目標	①15 ②1,050	①20 ②1,100	①25 ②1,150	①60.00% ②47.55%						
	実績	①16 ②822	①12 ②523								
認知症初期集中支援チームでの事例検討数	目標	60	70	75	51.43%						
	実績	41	36								

1-2 認知症高齢者施策の充実

(1) 認知症についての知識の普及

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 認知症についての理解の促進及び認知症サポーターの活動の充実	若年性認知症を含む認知症に関する正しい理解が地域に広まるよう、認知症サポーターの養成を行います。認知症サポーターが地域で認知症の人やその家族への支援を担うことで、認知症の人が住み慣れた地域で生活できる環境の整備を図ります。また、認知症サポーターの中から発足したオレンジサポーターの会により、地域で認知症の人の見守りや予防のための活動を行います。	オレンジサポーターが運営主体となり、認知症カフェの開催が安定的に2か所運営できています。オレンジサポーターの活躍の場として、また認知症サポーター増員目的に認知症サポーター養成講座の一部を実施していただけるようになりました。	C	オレンジサポーター等会員数は目標値を下回っていますが、認知症の方と家族を支える地域づくりの要となるオレンジサポーター活動が定着してきました。また認知症サポーター養成講座も年齢層の幅が広く実施できました。	継続	オレンジサポーターの会 会員数	目標	200	250	300	66.80%
							実績	147	167		
						認知症サポーター養成講座 ①実施回数 ②参加延べ人数	目標	①15 ②1,050	①20 ②1,100	①25 ②1,150	①60.00% ②47.55%
							実績	①16 ②822	①12 ②523		

(2) 認知症の早期診断と進行抑制

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 「認知症ケアパス」の有効活用	「認知症ケアパス」(認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れ)を普及し、それに応じた医療・介護の各サービス提供体制の確保を図ります。	認知症施策推進協議会において、認知症ケアパスの修正版の完成に向け検討を重ねました。しかし当初目標にしていた令和元年度内に完成することができませんでした。	B	検討は進み、最終案まで実施しましたが完成していません。	継続		目標				
② 認知症初期集中支援チームの充実	複数の専門職が家族からの相談などにより、認知症が疑われる人や認知症の人又はその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を引き続き包括的・集中的に行います。 また、自立生活のサポートを行うチームの活動がより効果的なものとなるよう、活動内容の充実を図ります。	認知症初期集中支援チーム事例検討数 36件 認知症初期集中支援チームの役割について、チラシを作成し、周知先を認知症の方や家族が相談しやすい薬局としました。 認知症初期集中支援チーム訪問指導1件	B	事例検討数は目標を下回ってしますが、活動周知のため、市内薬局へチラシを配布しました。 活動開始後初の訪問指導となり、認知症の方と家族の方の認知症に関する考え方や今後のサービス利用の必要性について理解してもらうことができました。	継続	事例検討数	目標	60	70	75	51.43%
③ 医療機関の連携体制づくり	認知症の早期診断についての連携や情報交換ができる体制の強化を図ります。	認知症疾患医療センターが開催する講演会に参加し、情報共有を行いました。 また、認知症施策推進協議会へ認知症疾患医療センター職員がメンバーとして参加し、情報の交換と共有をしました。	B	七宝病院で開催される研修会には参加できた市町村との情報共有及び連携が図れました。	継続		目標				
							実績				

(3) 地域で支える認知症支援策の充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 日常生活自立支援事業	社会福祉協議会と連携し、日常生活に不安を抱いている認知症の人に対して、地域で安心して暮らせるよう福祉サービスの利用支援や、各関係機関の連携、成年後見制度の活用を図ります。	社会福祉協議会のホームページ及びパンフレットにより、日常生活自立支援事業内容の周知を図りました。	B	対象となりそうな相談内容の問い合わせが増加しています。制度利用のための準備に入ったものが数件あります。	継続		目標				
							実績				
② 認知症カフェの普及活動	「認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う。」ことを基本理念とし、カフェ形式で実施する施策の普及に向けた啓発活動を行います。	認知症カフェ 開催会場数 6会場(悪天候により1会場増加できず) 開催数 43回(10月は台風接近・3月は新型コロナウイルス感染症に伴い中止) チラシを作成し、開催場所周辺の集まりで配布。また窓口にも掲示	B	目標値を下回っていますが、認知症カフェ開催が安定するよう活動の周知を窓口で行いました。	継続	会場数	目標	8	10	12	60.00%
							実績	7	6		

1-3 高齢者が安心して生活できる住まいの確保

(1) 住みやすい住宅の確保

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 住宅改修の推進	住宅改修は、本人に対する自立の支援とともに、住宅内での事故防止や介護者の負担軽減にもつながります。介護サービスの活用による住宅改修を推進していきます。	介護支援専門員や津島市民病院ケースワーカーには、ガイドブックやパンフレット等により周知し、住宅改修希望者への説明をお願いしました。また、窓口来庁者へは、職員が手引き等を利用し説明をしました。 さらに、適正利用を進めるため、厚生労働省通知に従い市への提出書類（見積書）の精査、ケアマネジャーの義務について整理をし、住宅改修施工業者、居宅介護支援事業所、包括支援センター等に周知しました。	B	手引き・パンフレット・ガイドブックの3つの方法で周知を行うことができました。また、事務運用の精査・整理をしたことで、一層の適正化を図ることができました。	継続	周知方法	目標	3	4	5	75.00%
						実績	3	3			
② 市街化区域内への高齢者向け住宅の誘導	サービス付き高齢者向け住宅など高齢者向け住宅の建設に際しては、愛知県の「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」の整備基準に適合する施設となるよう啓発するとともに、より生活のしやすい市街化区域内に建設されるよう誘導していきます。	「人にやさしいまちづくり」制度をホームページでご案内するとともに、高齢者向け住宅の建設にあたっての相談時などには、市街化区域内での建設となるよう啓発しました。令和元年度においては、高齢者向け住宅の建築確認申請は1件ありましたが、「人にやさしいまちづくり」条例に基づく届け出がなされ、さらに市街化区域内での建設でした。	A	高齢者向け住宅の建築に関する相談があった際に市街化区域内での建設を啓発した結果、令和元年度に建築された高齢者向け住宅は、市街化区域内で建設されました。	継続	市内全体における高齢者向け住宅の建築確認申請数に対する市街化区域内における高齢者向け住宅の建築確認申請数の割合	目標	80	80	80	125.00%
						実績	100	100			

(2)住宅の安全性の向上

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 緊急通報システム事業の普及	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の緊急事態に対処することを目的とする緊急通報システムの普及活動を行います。	普及啓発については、5月広報へ掲載し、周知を行いました。お宅訪問の際に、パンフレットを配布しつつ周知しました。	C	3月末では利用者総数236人、新規利用者22人と目標値と比べて減少傾向にあります。	継続	①利用者数 ②新規利用者数	目標	①263 ②37	①264 ②43	①265 ②50	①89.39% ②51.16%
					実績		①253 ②23	①236 ②22			
② 高齢者救急支援事業（救急あんしん君）の普及	緊急連絡先やかかりつけ医などをあらかじめ記入した救急情報登録連絡書を容器【救急あんしん君】に入れ、冷蔵庫に保管することで、救急時の救急隊及び救急搬送先医療機関での迅速な対応を可能とする高齢者救急支援事業の普及活動を行います。また、2年ごとに救急情報登録連絡書の情報更新を行っていきます。	5月と9月の年2回広報に掲載し、ホームページでも周知を行い、高齢者救急支援事業について5月に行われた民生委員の地区協議会で説明を行いました。更新方法については、救急医療情報キッドを配布している豊橋市に聞き取りを行いました。お宅訪問の際に、パンフレットを配布しつつ周知しました。更新については配布者の方に郵送で申請書を送りました。	C	配置者数と新規配置者数ともに目標値を下回っています。	継続	①配置者数 ②新規配置者数	目標	①2,060 ②80	①2,130 ②90	①2,200 ②100	①55.92% ②58.99%
					実績		①1,253 ②65	①1,191 ②53			

(3)安心できる防災・防犯体制の充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 防災対策	防災訓練や講習会等の実施において、高齢者への参加を積極的に呼びかけ、防災知識の普及・啓発を進めます。また、避難行動要支援者支援制度の活用により、障がいのある方やひとり暮らしの高齢者など、一人で避難することが困難な方へ支援を実施していきます。	各地域において、避難行動要支援者制度についての説明会を実施。各地域において実施した避難行動要支援者制度の説明会では、地区民生委員と町内会・自治会に参加いただき、平常時と災害時における要支援者への支援体制を説明しました。	B	市の総合防災訓練及び自主防災会主催による防災訓練への市民の参加率は約7.3%であり、特に東小学校区と北小学校区の自主防災会と共催した市総合防災訓練では約2,200名が参加しました。	継続	防災訓練の参加率	目標	10	10	10	73.00%
							実績	4.5	7.3		
						避難行動要支援者制度の同意者数	目標	1,405	2,000	2,500	75.75%
							実績	1,433	1,515		
② 防犯対策	警察署及び防犯協会と連携して、防犯キャンペーンやパトロール、防犯教室の開催など啓発活動を継続して実施していきます。	各季の運動期間中のキャンペーン啓発運動等の実施及び防犯教室等を実施するとともに、市内の犯罪発生状況に合わせた情報の周知啓発に警察及び防犯協会、各支部などと連携して取り組みました。年末年始の啓発として、各校区による年末夜警活動及び県内一斉特別警戒活動の実施しました。また津島警察署との連携・協力により市公用車にドライブレコーダーを設置し、犯罪等の事案発生時における画像提供の協定書を締結しました。 ①安全パトロール活動 2回実施 ②青パト防犯パトロール活動 7回実施 ③防犯ボランティア「津島みまもり隊」(R1.3月末時点:1,256人登録) ④防犯啓発キャンペーン 3回実施 ⑤振り込め詐欺対策 4回実施 ⑥空き巣被害対策 4回 ⑦防犯つしまの発刊(12月) 防犯あいちの発刊(10月、12月) ⑧〇っとあいち絆プロジェクト「すぐメール」(R1.3月末時点:津島署管内722団体登録) ⑨天王、愛宕、神守交番だより(10月～翌3月毎月班回覧)	A	市及び警察署、防犯協会、各支部等と連携、協力し、防犯啓発活動等を実施することで、市民への防犯意識の高揚を図ることが出来ました。その結果、市内の令和元年中の犯罪発生件数は、441件であり、昨年と比べ89件減少させることが出来ました。また、市民の安全安心な暮らしのため、警察署との連携・協力により公用車へのドライブレコーダーの設置を新規に実施しました。	継続	犯罪年間発生件数	目標	680	670	660	151.93%
							実績	530	441		

(3)安心できる防災・防犯体制の充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2	
③ 防火対策	火災発生時に、自ら迅速な通報・消火・避難行動がとれるよう、ひとり暮らしの高齢者に、消防署員の訪問による「ひとり暮らし老人家庭防火診断」を通じて、防火意識の啓発を行うとともに、義務化されている住宅用火災報知機の設置を促進することで、安全確保を図ります。	11月には8人、3月には10人ひとり暮らしの高齢者のお宅を訪問し、住宅用火災報知器の設置の点検や消火器の使い方等の指導を行いました。	C	11月では8人訪問して3人の方が、3月では10人訪問して10人の方が住宅用火災報知器を設置していませんでした。	継続	①訪問者数 ②設置者数	目標 ①16 ②8	①20 ②12	①20 ②13	①90.00% ②41.67%
④ 住宅の耐震改修の促進	発災時における被害の抑制を目的に、住宅の耐震改修や耐震シェルターの設置を支援します。	補助件数 ・木造住宅無料耐震診断件数 15件 (前期7件 後期8件) ・木造住宅耐震改修費補助件数 5件 (前期5件 後期0件) ・民間木造住宅除却費補助件数 3件 (前期2件 後期1件) その他 ・耐震改修相談会を9月に2日間開催 (参加者8名)	B	耐震改修については、5件の補助を行いました。一方で、耐震診断については実施を啓発するために、11月にチラシの班回覧を行いました。年間の件数は15件の実施にとどまりました。	継続	①耐震診断件数 ②耐震改修件数	目標 ①30 ②7	①30 ②7	①30 ②7	①50.00% ②71.43%

1-4 見守りと支えあいの促進

(1) 家族介護者への支援の充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 家族介護者等 養成事業	要介護認定者等を介護する 家族などに対し、適切な介護 知識・技術を習得することを 内容とした教室を開催しま す。	研修会を4回開催することができま した。 3月に予定していた研修1回はコロナ ウィルス感染症感染拡大防止のため 中止としました。	B	計画通り実施することはできません でしたが、中止した研修は不測の事態 のため、事業自体は問題なく実施でき ています。	一部修正	実施回数	目標	6	6	6	66.67%
						実績	6	4			
② 家族介護継続 支援事業	認知症の人を地域で支える 認知症サポーターの養成、医 療機関を含めた関係職種間 の認知症ネットワークの形成 などを行い、介護による家族 の身体的・精神的負担を軽減 します。	認知症サポーター養成講座 実施回数12回 参加者523人 60歳未満参加者400名(割合76.5%)	C	認知症サポーター養成講座実施回数 や参加者数は、目標を下回っています が、高齢者のみでなく、市職員や高 校生など幅広い世代へ養成講座を展 開できました。	一部修正	認知症高齢者 見守り事業 認知症サポ ーター養成講座 ①実施回数 ②参加延べ人 数	目標	①15 ②1,050	①20 ②1,100	①25 ②1,150	①60.00% ②47.55%
						実績	①16 ②822	①12 ②523			
③ 家族介護用品 支給事業	高齢者を自宅で介護する家 族等に、介護用品の支給を 行い、経済的負担を軽減する 事業を実施します。	前年度利用者の方に申請書を郵送 し、6月に広報に掲載し周知を行いま した。 前期利用者の方に申請書を郵送し、 12月の広報に掲載しました。また、お 宅訪問の際にパンフレットを配布しつ つ周知を行いました。	B	3月末では支給件数が18件と目標件 数を下回っていますが、新規利用者数 については2人と目標人数に達してい ます。	継続	家族介護用品 支給事業 ①支給件数 ②新規利用者 数	目標	①18 ②2	①20 ②2	①20 ②2	①90.00% ②100.00%
						実績	①23 ②9	①18 ②2			

(2) 高齢者の見守り活動の充実・高齢者虐待の防止

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 相談窓口の周知	高齢者虐待に関する相談窓口を住民へ周知し、浸透を図るため、あらゆる機会を捉えて継続的な広報を行います。また、介護事業所等への高齢者虐待防止法についての周知を行います。	周知については、広報紙を使い2年に1度の特集を組むことを行うことと、リーフレットを作成することを予定していきます。広報で隔年での特集掲載を通して、相談窓口の周知を行います。	B	広報周知は予定通り実施されています。	継続		目標				
② 虐待防止ネットワークの推進	高齢者虐待の発生予防、早期発見、虐待を受けた高齢者や養護者に対する適切な支援を行うため、地域包括支援センターや地域住民、関係機関と連携を図り、支援ネットワークを推進します。	包括支援センターに参加を呼び掛けて、市役所職員と3か所の包括支援センター職員各1名で、高齢者虐待関係やアルコール中毒対応等の研修や勉強会に今年度3回出席しました。	B	参加機会がある度に3包括に参加を促しており、研修会等の参加者数は目標通りです。包括の個々や高齢介護課の新人が研修会等を通して必要なスキルをアップさせ、高齢者虐待対応の基本的事項を学ぶことができました。	継続	高齢者虐待防止の研修会・勉強会 参加延べ人数	目標	10	15	20	80.00%
							実績	4	12		

(2)高齢者の見守り活動の充実・高齢者虐待の防止

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
③ 高齢者見守り事業	<p>認知症に関する広報・啓発活動、徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの運用、徘徊者検索模擬訓練の実施、メール配信システム機能の運用、民間事業者との高齢者地域見守り協力に関する協定などを行い、地域における高齢者の見守りネットワーク体制を推進します。また、地域における見守り、災害時における安否確認、避難誘導の支援等などひとり暮らし老人登録の運用を行います。</p>	<p>認知症ケアパスの修正 認知症施策推進協議会において議論 介護支援専門員および各包括に認知症高齢者事前登録を継続実施 認知症高齢者事前登録者数 32名 うち、新規登録者数 10名 行方不明高齢者等検索メール(かえるネットつしま) 2件実施(うち1件は配信前に発見、もう1件は市外居住者) 徘徊搜索模擬訓練 1校区実施 参加者 51名 見守り協定について、締結先からの通報・相談はありませんでした。また、締結先に協定内容の説明を行うこともできていません。 ひとり暮らし登録 新規登録者数 87名</p>	C	<p>早期発見の仕組みの運用(認知症高齢者事前登録)について浸透し始めています。しかし、徘徊搜索模擬訓練の実施やフォローアップについて実施できていません。 見守り協定について、締結先へ協定内容を再認識してもらう機会を作れず、信頼関係が築けていないため通報、相談に至らなかったと考えます。</p>	継続	かえるネットつしまの運用	目標	①3 ②10	①5 ②15	①8 ②20	①40.00% ②213.33%
						①利用件数 ②事前登録者数	実績	①0 ②24	①1 ②32		
						徘徊者搜索模擬訓練実施回数	目標	①4 ②3 ③1	①4 ②2 ③2	①5 ②2 ③3	①25.00% ②50.00% ③0%
						①実施回数 ②実施回数(新規) ③フォローアップ回数	実績	①2 ②2 ③0	①1 ②1 ③0		
						見守り協定通報・相談件数	目標	1	2	3	0.00%
							実績	0	0		
ひとり暮らし登録新規登録者数	目標	110	120	130	72.50%						
	実績	82	87								

(2)高齢者の見守り活動の充実・高齢者虐待の防止

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2			
④ 虐待防止マニュアルの見直し	自治体独自の虐待防止マニュアルの見直しを行います。	ダイジェスト版の見直しが必要かどうか、法律や国のマニュアル等を確認しました。	B	国の調査結果を確認したところ、市のダイジェスト版と相違ありませんでした。統計の数値が更新され次第、ダイジェスト版の数値も更新します。	継続		目標				
							実績				

(3)高齢者の尊厳の確保

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2			
① 成年後見制度利用支援事業	成年後見制度は、認知症高齢者などの権利擁護、虐待防止を図る上で重要な制度です。市長申立に係る低所得の高齢者に対する成年後見制度に要する経費や、成年後見人などの報酬の助成を行います。	1名の市長申立てが必要になったため申し立てを行い、弁護士の後見人が選任されました。	A	成年後見の市長申立てが必要かどうかのケース会議を随時行っており、その中で計画通り運用されています。後期には申し立てが必要な方と判断した人が1名ありました。申し立てを行い、後見人が選任されています。	継続	成年後見制度利用支援事業利用者数	目標	1	1	1	100.00%
							実績	1	1		
② 消費生活に関する支援	高齢者を狙った悪徳商法などの消費者被害防止のため、高齢者への消費者相談・消費者教育に取り組みます。	消費者被害相談件数 0件 消費者等相談業務について、周知活動を介護予防教室や出前講座にて実施	C	消費者被害相談がなく、今年度も潜在化している消費者被害の掘り起しができていません。	一部修正	消費者被害相談件数	目標	3	4	5	0.00%
							実績	1	0		

基本方針2 「健康寿命の延伸」を目標とした介護予防の推進

2-1 効果的な介護予防事業の充実

(1) 介護予防・生活支援サービス事業の実施

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2	
① 訪問型サービスA・B	ヘルパーやつしま家事サポーターが提供するサービスで、見守りを含む一部身体介護及び家事援助等を行います。	実績 ・訪問型サービスA利用件数: 1,342件 ・訪問型サービスB利用件数: 545件 つしま家事サポーター養成講座2日程及び追加講座1日程実施。	B	訪問型サービスAは目標値より少ない提供件数となっていますが、訪問型サービスBは利用人数が増加しています。	継続	①訪問型サービスA 給付件数 ②訪問型サービスB 利用件数	目標 ①1,602 ②278	①1,651 ②286	①1,701 ②293	①81.28% ②190.56%
② 通所型サービスA・B・C	通所介護事業所、ふれあいサロン等での、運動機能向上・認知症予防、閉じこもり予防や口腔機能向上を中心としたサービスを提供します。	実績 ・通所型サービスA: 3,365件 ・通所型サービスB(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月実施せず) 実施箇所数 50か所 参加延べ人数 6,733人 ・通所型サービスC: 47人(延)、4人(実)	C	通所型サービスAは見込みを少し上回るサービス提供となっています。通所型サービスBは3月実施できず、見込みを下回りました。通所型サービスCは今年度から事業形態を修正しましたが、参加者数は増えませんでした。	継続	通所型サービスA 給付件数	目標 3,684	4,027	4,402	83.56%
					実績 3,540	3,365				
					通所型サービスB ①実施箇所数 ②参加延べ人数	目標 ①50 ②7,200	①55 ②7,400	①66 ②7,600	①90.91% ②90.99%	
実績 ①52 ②7,151	①50 ②6,733									
通所型サービスC ①実施回数 ②参加実人数 ③参加延べ人数	目標 ①16 ②10 ③80	①16 ②10 ③80	①16 ②10 ③80	①75.00% ②40.00% ③58.75%						
実績 ①8 ②4 ③19	①12 ②4 ③47									

(1) 介護予防・生活支援サービス事業の実施

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2			
③ 介護予防ケアマネジメント A・C	利用者が介護予防・生活支援サービス等を適切に利用できるよう、本人からの依頼を受けてその心身の状況、置かれている環境、本人や家族の希望等を勘案します。利用する介護予防・生活支援サービス等の種類・内容等を定めた計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が確保されるように事業者等と連絡調整を行うサービスです。	実績 ・介護予防ケアマネジメントA:2,254件 ・介護予防ケアマネジメントC:12件 介護予防ケアマネジメント勉強会 2回開催 105名 3回目を3月実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	B	マネジメント件数は目標値を下回っておりますが、勉強会や研修会は予定通りの参加者でした。	継続	介護予防ケアマネジメント作成件数 ①介護予防ケアマネジメントA ②介護予防ケアマネジメントC	目標	①2,849 ②11	①3,100 ②18	①3,375 ②24	①72.71% ②66.67%
							実績	①2,645 ②9	①2,254 ②12		
						勉強会参加者数	目標	60	70	80	150.00%
							実績	76	105		

(2) 一般介護予防事業の実施

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2			
① 介護予防把握事業	地域包括支援センターと連携し、閉じこもり等、何らかの支援を要する人を把握することで、介護予防活動につなげます。	地域包括支援センターの周知 出前講座3回 その他講演会等2回実施 基本チェックリスト実施件数 73件実施	C	今年度は出前講座の申し込みが少なく、周知の場が減少しました。	継続		目標				
							実績				
							目標				
							実績				

(2)一般介護予防事業の実施

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
② 介護予防普及啓発事業（一般介護予防事業）	地域包括支援センター等関係機関と連携し、パンフレットの配布や勉強会の開催により、つし丸たいそう教室、集いの場、転倒予防教室、プール教室、口腔機能向上教室等の介護予防について普及・啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 一般介護予防事業（つし丸たいそう教室） 実施か所数2か所 実施回数17回 参加延べ人数128人目標達成率64.00% 一般介護予防事業（ヨガ教室） 実施か所数2か所 実施回数16回 参加延べ人数422人目標達成率95.45% 一般介護予防事業（プール教室） 実施か所数1か所 実施回数114回 参加延べ人数514人目標達成率85.67% 一般介護予防事業（元気サンサン教室） 実施か所数1か所 実施回数40回 参加延べ人数1063人目標達成率88.58% 身体測定 握力0.79kg 片足立ち5.22秒増 歩行速度0.24秒減 TUG1.00秒減 骨密度0.01% 一般介護予防事業（転倒予防教室） 実施か所数4か所 実施回数59回 参加延べ人数1486人目標達成率76.21% 介護予防率 握力80.5% 開眼片足立ち91.9% TUG93.5% 通常歩行88.1% ファンクショナルリーチ91.9% 一般介護予防事業（口腔機能向上教室） 実施か所数4か所 実施回数16回 参加延べ人数133人目標達成率88.67% 	A	新型コロナウイルス感染症対策のため、つし丸たいそう教室や転倒予防教室、プール教室では中止になった回もあり、達成率については昨年度と比較すると低下しているが、おおむね目標通りの回数、参加者数が実施できました。アンケート結果からも主観的評価においては、心身共に良い効果があったと感じる方の割合が7割以上と多く、客観的評価においても運動機能の維持・向上が見られることから、介護予防に効果的であるといえます。	継続	一般介護予防事業（つし丸たいそう教室）	目標	①2 ②20 ③200	①2 ②20 ③200	①2 ②20 ③200	①100.00% ②85.00% ③64.00%
						①実施個所数 ②実施回数 ③参加延べ人数	実績	①2 ②20 ③103	①2 ②17 ③128		
						一般介護予防事業（ヨガ教室）	目標	①16 ②440	①16 ②440	①16 ②440	①100.00% ②95.91%
						①実施回数 ②参加延べ人数	実績	①16 ②366	①16 ②422		
						一般介護予防事業（プール教室）	目標	①1 ②120 ③600	①1 ②120 ③600	①1 ②120 ③600	①100.00% ②95.00% ③85.67%
						①実施個所数 ②実施回数 ③参加延べ人数	実績	①1 ②120 ③537	①1 ②114 ③514		
						一般介護予防事業（元気サンサン教室）	目標	①40 ②1,200	①40 ②1,200	①40 ②1,200	①10.00% ②88.58%
①実施回数 ②参加延べ人数	実績	①40 ②1,035	①40 ②1,063								
一般介護予防事業（転倒予防教室）	目標	①3 ②60 ③1,950	①3 ②60 ③1,950	①3 ②60 ③1,950	①133.33% ②98.33% ③76.21%						
①実施個所数 ②実施回数 ③参加延べ人数	実績	①3 ②60 ③1,512	①4 ②59 ③1,486								
一般介護予防事業（口腔機能向上教室）	目標	①4 ②5 ③150	①5 ②16 ③150	①5 ②16 ③150	①80.00% ②100.00% ③88.67%						
①実施個所数 ②実施回数 ③参加延べ人数	実績	①4 ②5 ③89	①4 ②16 ③133								

(2)一般介護予防事業の実施

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
③ 地域介護予防活動支援事業	介護予防に関するボランティアや、地域活動組織の育成・支援を行い、市民主体の介護予防活動を推進します。	ボランティア育成及びフォローアップ実施 ・認知症予防スタッフ養成講座1回及びフォローアップ講座0回 計1回、登録者数 80人 ・つま家事サポーター養成講座3日程及びフォローアップ3回 計6回、登録者数 71人 ・介護支援ボランティア説明会1回、登録者数 181人 年齢到達の封筒に印字する図を検討しました。	B	ボランティア育成及びフォローアップの開催は予定どおり行えています。	継続	認知症予防スタッフ養成講座・フォローアップ ①実施回数 ②登録者数	目標	①1 ②75	①7 ②90	①1 ②90	①14.29% ②88.89%
							実績	①1 ②75	①1 ②80		
						つま家事サポーター養成講座・フォローアップ ①実施回数 ②登録者数	目標	①5 ②64	①5 ②69	①5 ②73	①120.00% ②102.90%
							実績	①5 ②63	①6 ②71		
						介護支援ボランティア・フォローアップ ①実施回数 ②登録者数	目標	①1 ②196	①1 ②200	①1 ②204	①100.00% ②90.50%
							実績	①1 ②182	①1 ②181		
④ 一般介護予防事業評価事業	一般介護予防事業の評価を行います。	国の指標や要綱に合わせ、一般介護予防事業及び介護予防・生活支援サービス事業の評価の方法について検討しました。地域ケア会議の運営方法について、介護予防施策検討チームにおいて検討されました。	C	介護予防施策検討チームにおいて、具体的な評価方法を決定しました。令和2年度から評価を実施します。	継続	評価回数	目標	1	1	1	0.00%
							実績	1	0		
⑤ 地域リハビリテーション活動支援事業	地域における介護予防の取り組みを機能強化するため、様々な場に、リハビリテーション専門職が関わる取り組みを継続します。	通所型サービスA勉強会 実施回数1回 津島市リハビリテーション連絡協議会のチラシを市役所及び地域包括支援センターにおいて窓口配布しました。通所型サービスA勉強会及び認知症スタッフフォローアップ研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。	B	介護サービスを提供している事業所職員に向けてリハビリ専門職が技術支援を行うことができました。	継続	目標	/				
						実績					

(3)多職種連携による介護予防事業の取り組みの推進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標			目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2		
① 津島市介護予防施策検討チームの推進	介護関係者等が集まって、地域全体の介護予防施策を検討し、課題解決に向けて連携・協力をします。	介護予防施策検討チーム 年4回実施 各団体における昨年度の企画の進捗状況及び、今年度の取り組みについて情報共有しました。	A	各団体における介護予防への取り組み方、考え方など共有することができました。	一部修正	目標				
						実績				

2-2 高齢者の日常生活支援の充実

(1)生活支援サービスの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 生活支援サービスの充実	各関係機関と協力し生活支援サービスの実施を検討する協議体において、地域の特性に応じたサービス体制づくりを進めます。	新たなサービスの創出 1件 健活くらぶを10月から実施 協議体実施件数 27件 ・第1層協議体 4件 ・第2層協議体 23件	A	協議体の実施について目標を上回り開催ができています。前期に検討・調整を行い新たに創出したサービスである「健活くらぶ」についておおよそ予定通り実施することができました。また「担い手不足」「通う場所の不足」「移動手段の不足」への対策について、第2層協議体、関係団体への聞き取りや社会資源の整理を通してサービス形態の検討を進めました。	継続	創出したサービス数	目標	0	0	2	-
							実績	0	1		
						協議体開催回数	目標	6	6	6	450.00%
							実績	33	27		

(1)生活支援サービスの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
② コーディネート機能の充実	生活支援コーディネーターを配置し、地域づくりを基本とした地域資源及びニーズ・課題の把握を行い、地域の支え合い体制の構築を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体件数 23件 ・生活支援サービス準備委員会8件 ・つしま家事サポーター養成講座 3回 ・ニーズとサービスのマッチング件数 2,188件 	A	協議体、家事サポーター養成講座の開催回数、ニーズとサービスのマッチング件数については目標通り実施できています。生活支援サービス準備委員会については必要時に電話で連携を図っているため特に議題とすることがなかったり、新型コロナウイルス拡大防止のため中止としたため、実施回数が想定より少なくなりました。そのため、目標回数には達していませんが協議体のコーディネート機能が正しく動いているといえます。	継続	協議体開催回数	目標	6	6	6	450.00%
							実績	33	27		
						生活支援サービス準備委員会開催回数	目標	12	12	12	66.67%
							実績	12	8		
						つしま家事サポーター養成講座開催回数	目標	2	2	2	150.00%
							実績	2	3		
ニーズとサービスのマッチング件数	目標	2,112	2,160	2,304	98.06%						
	実績	1,962	2,118								

(1)生活支援サービスの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
③ 高齢者の移動手段の確保	運転免許証を自主返納した方等に対して移動支援を進めます。	令和元年度中の交付人数の実績は152人でした。事業の周知方法として、市広報紙(11月号)及びホームページへの掲載、愛知県交通安全協会津島支部(津島警察署内)に協力いただき、自主返納の申請に来られた高齢者に対して事業のちらしを配布してもらったことなどを行いました。また、全国的に高齢運転者による死亡事故が多く発生したため、老人クラブ等の警察官による講話の際に周知啓発を行いました。	A	目標達成率138.18%と目標値を上回ることができました。	継続	津島市ふれあいバス」無料乗車回数券 交付人数	目標	100	110	120	138.18%
						実績	71	152			

(2) ボランティア活動の充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2		
① ボランティアセンターの充実	津島市社会福祉協議会ボランティアセンターが実施しているボランティアに関する相談、支援を必要としている高齢者とボランティアを結ぶコーディネート、広報紙などを通じた情報提供など、コーディネート機能の充実・強化を図ります。	ボランティアコーディネート、連絡調整、周知活動	C	ボランティア連絡協議会が解散し、機能強化が求められているが、センターの機能に変化がない状況です。	継続	目標				
② ボランティア連絡協議会の充実	ボランティア連絡協議会は、地域力の向上に向け、グループ同士の情報交換などの機会を充実し、ボランティアのネットワーク化を推進します。	令和元年度総会をもってボランティア連絡協議会は解散となった。	D	ボランティアを取りまとめる機能がなくなってしまったため、情報の共有や研修会の開催が難しくなった。	廃止	目標				
③ ボランティア講座の開催	社会福祉協議会において、ガイドボランティア講座、点字入門講座、シニアサイン講座など様々なボランティア講座を開催します。市民のボランティア活動のきっかけづくりや、活動の充実が図られるよう支援します。	講座の開催はありませんでした。チャレンジドフェスティバルにて点訳ボランティアがブースを持ち、活動の周知を行いました。	B	講座は開催しなかったが、周知の機会は作る事が出来ました。	一部修正	目標				

(3) 自立に向けたサービスの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 食の自立支援事業	在宅のひとり暮らし高齢者等に対して継続的な食関連サービス利用の調整と配食サービスを行うことにより、ひとり暮らし高齢者等の食生活の改善と健康増進を図ります。	食事をすることが困難なひとり暮らしの高齢者の方などにお昼のお弁当の配食を行いました。	B	例年並みの事業実施を行いました。	継続	配食数	目標	30,600	31,400	32,200	89.78%
							実績	28,860	28,192		
② 寝具洗濯乾燥サービス	在宅のひとり暮らし高齢者等に対して寝具の洗濯乾燥サービスを実施し、寝具を清潔な状態にし、高齢者の衛生管理及び健康保持を図ります。	前年度利用者数の方に申請書を郵送し、5月と7月に広報に掲載し周知を行いました。お宅訪問の際にパンフレットを配布しつつ周知を行いました。	C	3月末では利用者55人、新規利用者4人と目標人数を下回っています。	継続	利用者数	目標	58	60	62	91.67%
							実績	59	55		
						新規利用者数	目標	8	9	10	44.44%
							実績	12	4		

基本方針3 生きがいつくりの充実と多様な働き方や社会参加の促進

3-1 社会参加の促進

(1) 高齢者の就労支援

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 就労の促進	高齢者の能力に応じた多様な就労の場の確保に向けた働きかけなどを行い、就労機会の拡大に努めます。	就労先件数 1,793件(3月末) 市からシルバー人材センターに対しての就労の支援は、具体策が決まっておらずできませんでした。	B	就労先の目標数は上回っていますが、市からシルバー人材センターに対しての就労の支援は、具体策が決まっておらずできませんでした。	継続	就労先(件数)	目標	1,230	1,280	1,330	140.08%
							実績	1,545	1,793		
② シルバー人材センターの支援	より多くの高齢者が知識と経験を活用し、生きがいをもって地域社会に密着した就業に取り組めるようシルバー人材センターの活動を支援します。	新規会員数 22人(3月末時点) 会員増加に繋がる支援の取り組みとしては、広報へ会員募集の記事を5月、7月、9月の3回掲載し、周知を行いました。	C	新規会員数は目標人数を下回っています。	継続	新規会員数	目標	27	29	31	75.86%
							実績	24	22		

(2)多様な社会参加の促進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 津島市介護支援ボランティア制度の普及・促進	高齢者が、介護施設や病院などで利用者の話し相手になったり、手伝いをするなどのボランティア活動を通じて、社会参加を促進します。制度の周知を図り、高齢者の積極的な制度利用につなげます。	令和2年3月末時点での介護支援ボランティア登録者181人、活動延べ回数753回、活動延べ人数2,085人 研修会1回実施、全登録機関訪問1回実施	B	3月はコロナウィルス感染症拡大防止対策として、各施設がボランティアの受入を中止しており実績が減少していますが、それ以外は例年並みの実施ができています。	継続	登録者数	目標	196	200	204	90.50%
						実績	182	181			
② 老人クラブ活動の支援	未加入の高齢者に対し、クラブへの加入を促すとともに、集いの場の実施等、高齢者にとって魅力あるクラブづくりを進めます。また、指導者の研修を行うなど、組織の拡充と活動を支援します。	クラブ数60クラブ 会員数2,950人 新規会員数107人 12月に指導者研修会を実施しました。会員増強の促進活動として、老人クラブのない町内会へ周知はできませんでしたが、老人クラブ会員以外の方も参加できる事業を市老人クラブ連合会と協力して1つ行いました。	C	老人クラブ会員以外の方も参加できる事業を行ったことで、老人クラブ活動の周知に繋がったと考えられます。しかし、会員増強の促進活動が1つしかできておらず、目標を下回っております。	継続	①クラブ数 ②会員数 ③新規会員数	目標	①59 ②2,880 ③180	①60 ②2,760 ③180	①60 ②2,620 ③180	①100.00% ②106.88% ③59.44%
							実績	①60 ②3,050 ③173	①60 ②2,950 ③107		
						老人クラブ会員増強の促進活動	目標	1	2	3	50.00%
						実績	0	1			

(2)多様な社会参加の促進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
③ 世代間交流の 推進	保育園・幼稚園、小・中学校 における行事などへ参加し、 高齢者がもつ知識や技術を 伝承するなど、子どもたちと の交流を行います。 また、高齢者が培った経験を 活かすことができるよう各種 教室や講座、催しなどを開催 します。	親子陶芸教室 1回実施 2名参加 市立幼稚園との交流会 1回実施 58 人参加 津島北高校との交流会 未実施 昔遊び体験 未実施	C	昨年度に実施していた津島北高校と の交流会と昔遊び体験を今年度は実 施できませんでした。各種教室等は実 施回数目標は4回、参加者数の目 標は120人でしたが、実施回数は2回、 参加者数は60人でどちらも目標の半 数しかできませんでした。	一部修正	各種教室等 の開催回数	目標	4	4	4	50.00%
							実績	4	2		
						各種教室等へ の参加者数	目標	100	110	120	54.55%
							実績	101	60		
④ 高齢者福祉施 設のあり方の 検討	「老人福祉センター」「わざ・語 り・伝承の館」などの施設の 利用状況等を踏まえ、検討を 行います。	令和元年度に設置された老人福祉施 設集約化検討チーム会議を2回(7 月、8月)開催しました。 前期で3つに絞った集約化の案から最 終的な方針決定をすることはできてい ません。	C	前期に老人福祉施設検討チームを2 回開催できたことは評価できますが、 前期に絞った3つの案から最終的な方 針を決定することができず、遅延して います。	一部修正	検討回数	目標	0	2	4	100.00%
							実績	0	2		

(3)多様な主体による、生活支援サービスの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 集いの場	閉じこもりや認知症予防のため、地域の集会所等で健康運動やゲームを活用した交流の場を提供します。また、交流の場を継続的に推進するため、地域における人材育成を図ります。	助金対象団体数 68団体 昨年度の補助対象団体へ周知をし、継続事業として集いの場の補助を行いました。	C	昨年度の実施団体は77団体でしたが9団体が辞退したため、補助対象団体数は減少しています。	一部修正	実施個所数	目標	90	90	90	75.56%
						実績	77	68			
② つしま家事サポーター	市の養成講座を修了し、体験実習をしたボランティアの「つしま家事サポーター」が生活支援サービスの担い手となり、買い物の代行、ゴミ出しなどの家事援助を行うことができるよう提供体制を整備します。	養成講座3日程開催 新規登録者数19人(登録率89.4%) つしま家事サポーター登録者数71人(目標達成率102.8%)	A	家事サポーター数は目標を上回っており、必要な人数は確保できていると考えられます。	継続	つしま家事サポーター養成講座開催回数	目標	2	2	2	150.00%
							実績	2	3		
						登録者数	目標	64	69	73	102.90%
							実績	63	71		

3-2 生きがいつくりの推進

(1) 地域における交流の促進

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 多様な交流の 促進	地域の各組織活動をはじめ、 趣味やスポーツの会、ボラン ティア活動など、多様な社会 参加を通じた交流を促進しま す。	つしま家事サポーター	C	各団体の周知回数については目標ど おり行っていますが、交流回数は新型 コロナウイルスの影響で半減となっ ています。	一部修正	各団体の周知 回数	目標	35	35	35	105.71%
		実績					23	37			
		各団体・個人 の交流回数				目標	19	20	20	50.00%	
						実績	19	10			
計		周知回数 37回 交流回数 10回									

(2) 生きがいづくりの場の提供

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率
		取組内容	評価	評価理由		H30	R1	R2		
① 生涯スポーツ活動の推進	子どもから高齢者まで誰もが参加できるスポーツイベントを開催します。 また、自分のレベルに合わせて、様々なスポーツにふれることができる総合型地域スポーツクラブを育成し、さらに生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ教室はソフトテニスやバドミントン等、7種目を実施しました。またスポーツフェスティバルを東公園一帯で開催し、さまざまなスポーツ体験事業を実施したほか、年間を通じて、さまざまな世代が多くの種目をレベルに合わせてスポーツに触れることができる総合型地域スポーツクラブの活動支援を実施しました。	B	スポーツ教室については70人、スポーツフェスティバルについては約4,000人、総合型地域スポーツクラブ会員は延べ287人の参加があり、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方々がスポーツに触れ、健康づくりに役立てていただく機会を提供することができました。	継続	目標				
② 生涯学習の充実	高齢者が学習の機会を選択し、自主的な学習活動を展開していくことができるよう、各種講座や教室・セミナーなどの充実を図ります。 また、生涯学習に関する情報提供を進めます。	・市民大学講座…「絵画鑑賞を楽しむために ー西洋美術と日本美術ー②」全4回受講者29名、「縁がなさそうで縁があるーちょっと変わった善光寺の絵物語ー」全1回受講者40人、「日本映画の世界」全3回受講者18名で実施しました。 ・公民館教室…硬筆・毛筆書道教室10回定員13名、健康体操教室8回定員25名、いけ花教室8回定員25名、骨盤ストレッチ&エクササイズ10回定員26名で実施しました。 ・生涯学習ガイド…令和元年度版、発行部数1,800部、市ホームページでの公開	B	・市民大学講座については、予想外に多くの参加者があり、人気のあるテーマ設定をすることができました。 ・公民館教室事業については、骨盤ストレッチ&エクササイズ・健康体操教室の申込み人数が募集人数より多くなり喜んでもらえました。	継続	目標				
						実績				

基本方針4 介護保険サービスの運用の効率化、利用の適正化

4-1 介護サービスの適正化

(1) 在宅生活を支援するサービス提供体制の充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 実地指導による介護保険サービス事業者等の運営基準の遵守	市内の居宅介護支援事業所、サービス事業者(地域密着型を含む)等の実地指導により、サービスの提供内容や運営基準の遵守などを確認します。 また、サービス事業者自らが定期的に自主点検することを促進します。	市の実地指導 地域密着型サービス 3件 居宅介護支援事業所 6件 総合支援事業所 9件 県の実地指導立合 18件	A	県、市の実地指導がともに目標件数以上に実施できました。	継続	県の実地指導立会い件数	目標	15	15	15	120.00%
							実績	11	18		
						市の実地指導件数	目標	12	15	18	120.00%
							実績	9	18		

(2)適正なサービス提供に関する取り組み

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上	地域包括支援センターと連携し、地域ケア会議、津島市居宅介護支援事業者連絡協議会において事例検討等の研修・勉強会を通し、介護支援専門員の資質向上の支援をします。 また、県等が主催する研修会等についての情報を提供し、参加要請をします。	居宅介護事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数 7回（勉強会3回含む） 介護予防ケアマネジメント勉強会実施回数 1回 あんしんネット津島事例検討会実施回数 3回 県等が主催する研修会等についての情報を提供し、参加要請をします。	C	介護支援専門員の資質向上のため地域包括支援センターと協力し勉強会の開催や検討会を開催しました。	一部修正	居宅介護事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数	目標	25	26	27	26.92%
						実績	11	7			
② 介護保険サービス事業者の資質向上	介護保険サービス事業者に対して、県等が主催する研修会についての情報を提供し、参加要請をします。 また、訪問介護事業者連絡協議会、通所介護事業者連絡協議会及びリハビリテーション事業者連絡協議会において、事業所の資質向上のための研修や勉強会について連携・協力を図ります。	・訪問介護事業者連絡協議会（勉強会のみ）実施回数 6回 ・通所介護事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数 7回 ・リハビリテーション事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数 7回 介護保険サービス事業者に対して、県等が主催する研修会についての情報を提供しました。 2月末から3月にかけて新型コロナウイルス感染症対策のため、中止。	B	ほぼ目標通り勉強会を実施し、事業者が総合事業、地域密着型サービス、居宅介護支援事業所のサービスや制度について理解を深めることができました。	継続	訪問介護事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数	目標	10	10	10	60.00%
						実績	10	6			
						通所介護事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数	目標	9	10	11	70.00%
						実績	9	7			
						リハビリテーション事業者連絡協議会（勉強会を含む）実施回数	目標	6	6	6	116.67%
						実績	6	7			

(2)適正なサービス提供に関する取り組み

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
③ 介護相談員派遣事業	事業所に介護相談員を派遣し、介護サービス利用者と介護保険サービス事業者との橋渡しを行うことで、利用者の疑問や不満、不安の解消を図ります。	介護相談員派遣事業については、市役所から施設に相談員を派遣して施設入所者の苦情や相談を受け付けることが目的でしたが、施設への苦情・相談がある場合は、直接、市役所等に連絡をする方が増加するなど、介護サービスの相談窓口が市役所であることが認識されてきたと判断し、令和元年度より事業を廃止することとしました。	D		廃止	派遣件数	目標	46	69	69	-
④ 福祉用具・住宅改修の普及と利用促進	福祉用具の貸与や購入、住宅改修を考えている利用者に対し、福祉住環境コーディネーターや病院の理学療法士等の専門相談員の指導のもと、介護支援専門員と市職員が事前に協議し、利用者の立場に立ったアドバイスや支援を行います。	軽度者の福祉用具貸与件数(年間) 102件 福祉用具購入件数(年間) 181件 住宅改修件数(年間) 191件 住宅改修の事前の現地確認を全件実施しています。 加えて、担当者が福祉住環境コーディネーター2級を取得することでより専門的な視点から点検することができました。	B	各件数ともほぼ目標どおり行えており、軽度者に対する福祉用具貸与については、ケアプラン等の内容を検証し、適正にサービスが利用されているか確認、また福祉用具購入については、利用計画書の内容を精査し、適正な購入かを確認し、適正なサービス利用の促進につなげることができました。福祉用具の利用(購入・貸与)に関しては現地確認も実施しました。住宅改修については、福祉住環境コーディネーター2級の資格を持つ職員が事前申請のあった改修工事について、全件調査を行うことで専門的な視点からの点検を実施しました。加えて、工事後の抽出点検も実施しました。また、適正な運用が進むよう厚生労働省の通知に従って取り扱いの整理を行い、事業所等に通知を発生しました。	継続	軽度者の福祉用具貸与	目標	220	220	220	46.36%
							実績	125	102		
						福祉用具購入	目標	220	220	220	82.27%
							実績	205	181		
						住宅改修	目標	220	220	220	86.82%
							実績	225	191		
⑤ 終末期ケアへの取り組み	第2号被保険者(40~64歳)の方でも、末期がんを含めた特定疾病により、介護サービスを受けられることを周知し、終末期ケアに対応できるよう電子@連絡帳(つながるまい津島)を利用した情報の共有について検討します。	ホームページとパンフレット等を活用し周知を行いました。 人生会議について、出前講座等で周知しました。	B	HPとパンフレット等を活用して周知を行いました。 終末期ケアを含め、在宅で支援が必要な方について、電子@連絡帳を活用し、情報共有を図りました。	一部修正						

4-2 介護サービスの実施

(2) 地域密着型サービスの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護の両方を提供し、定期巡回と随時の対応を行うサービスです。一体型(一つの事業所で一体的に提供)と、連携型(地域の事業所が連携して提供)の事業所があります。	5月7日～6月28日、9月2日～9月27日の2度に渡り公募を行いました。令和2年度の公募にむけ、市内事業所に対し意向調査を行う準備をしました。	C	公募を行ったものの、希望事業者が現れず開設には至りませんでした。公募に対して、効果的な周知方法の検討が十分にできませんでした。	継続	事業所数	目標	0	0	1	0.00%
							実績	0	0		
						利用者数	目標	0	0	180	0.00%
							実績	0	0		

4-3 状態に応じた適切なサービス利用の促進

(1) 介護サービスの情報提供

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 地域包括支援センターによる情報提供の充実	地域包括支援センターでは、いつでも介護サービス情報が得られる体制を整えるとともに、これらが十分に活用されるよう、情報を発信し、市民への周知を図ります。	地域包括支援センターの周知 出前講座 3回 その他講座等 4回 合計 7回	B	開催回数は目標値よりも少ないですが、地域包括支援センターの認知度を向上させるため、出前講座及び講演会等で周知をしました。また、地域包括支援センターの認知度(知名度)は、62.4%でした。	継続	出前講座・講演会等の開催回数	目標	10	10	10	70.00%
							実績	10	7		
						地域包括支援センターの認知度	目標	-	66.75	-	93.48%
							実績	-	62.4		
② 介護サービス利用の手引き	介護サービス利用の手引きを各居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに配布するとともに、要介護等認定の申請の流れや市内の事業所、介護サービスの種類等の情報提供を行います。	事業所の増減等があった際、随時修正しました。 10月の報酬改定に合わせ、利用料等の修正を10月に行いました。 3月末時点で、1,295部窓口等で配布しました。	A	目標通り、随時修正版を作成し、配布できています。	継続	配布数	目標	840	860	880	150.58%
							実績	918	1,295		
③ 「津島市サービス事業所ガイドブック」の配布	サービス事業者の各種サービス情報を掲載した「津島市サービス事業所ガイドブック」を公共施設の窓口に設置し、情報提供を図ります。	市内各事業所及び、介護予防日常生活支援総合事業の指定を受けている県外の事業所に、紹介ページの作成・確認依頼を行い、発行しました。事業所ガイドブックをホームページに掲載し、出先機関へ事業所ガイドブックを配布しました。また、事業所の詳しい情報を必要としている市民に窓口で配布するなど、情報提供を行いました。	A	予定通り、ホームページへの掲載や市窓口での配布を行い、さらに出先機関の窓口に配布し、情報提供を図ることができました。	継続		目標				
							実績				
④ 身近な関係機関による情報提供	民生児童委員などの地域の実情を把握している身近な関係機関による情報提供を図ります。	民生児童委員の地区協議会で働きかけ回数 6回	C	民生児童委員の地区協議会(東、西、南、北、神守・蛭間・高台寺、神島田)の場で働きかけをおおむね目標どおり実施できました。	継続	関係機関への働きかけ回数	目標	6	8	10	75.00%
							実績	6	6		

(1)介護サービスの情報提供

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
⑤ 説明会や出前講座の開催	サービスについての説明会を開催するとともに、出前講座を活用し、市民のニーズに応じた情報の提供や意見交換などを実施します。	出前講座等開催実績 ・出前講座 3回 ・つしま家事サポーター養成講座 2回 ・講演会等 2回 合計 7回	B	目標値を下回りましたが、地域包括支援センターを総合相談窓口として活用できるよう、また高齢者福祉・介護サービスの周知啓発に努めました。また、地域包括支援センターの認知度(知名度)は、62.4%でした。	継続	出前講座・講演会等の開催回数	目標	10	10	10	70.00%
							実績	10	7		
						地域包括支援センターの認知度	目標	-	66.75	-	93.48%
							実績	-	62.4		
⑥ パンフレット等による情報提供	サービス利用の手続きや、保険料の仕組みなど制度全般について掲載したパンフレットを作成し、情報提供を行います。	令和元年度末時点で2,300冊のパンフレットを配布しました。また、新年度用パンフレットの作成をしました。	C	年齢到達者や来庁者に対してパンフレットを配布し随時情報提供を行うよう努力しましたが、配布率76%であり、多くの在庫を残してしまいました。年齢到達者の人数は昨年度に比べ大幅に減となっていることが要因の一つと考えられます。より分かりやすくなるように内容を精査し、新年度用パンフレットの作成をしました。	継続	配布率	目標	100	100	100	76.00%
							実績	100	76		
⑦ 「介護サービス情報公表システム」制度の活用促進	「介護サービス情報公表システム」制度は、利用者が介護保険サービス事業者を適切に選択できるよう、事業者に対してサービス情報の公表を義務付けるものです。県は、県内の介護保険サービス事業者の調査や介護サービス情報の公表に係る実施計画の策定、事業者からの公表すべき情報の受理、必要な情報に係る調査の実施、情報の公表などの事務を行います。また、このシステムを活用するための周知・啓発を行います。	ホームページ及び介護サービス利用の手引きに掲載しました。	B	ホームページ及び介護サービス利用の手引きに掲載し、周知を行いました。	継続	目標					
						実績					

(2)ケアマネジメントの充実

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 介護支援専門員（ケアマネジャー）の研修機会等の充実	ケアマネジャーの質の向上のため、研修機会の充実を図り、高齢者の生活の自立につながるケアマネジメントを作成するよう啓発・推奨します。	中地域包括支援センターでケアプラン点検を実施。 点検数:13件	A	目標を達成することができました。	継続	地域包括支援センターケアプラン点検支援実施件数	目標	9	9	9	144.44%
						実績	9	13			

(3)介護給付費等の適正化

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
① 保険料の適正な徴収	介護保険料の公平な徴収を図るため、口座振替の推奨、市広報やホームページによる周知、未納者への定期的な徴収活動を実施します。	4月・8月広報やホームページにて、介護保険料の案内についてや口座振替について周知しました。 5月末時点での収納率 普通徴収 91.55% 全体 99.28% 3月末時点での 収納活動臨宅件数 485件 うち、徴収件数 243件	A	広報やホームページによる周知活動は予定どおり行うことができました。また定期的に収納活動を実施するなど、収納率向上に努めた結果、目標値を上回ることができました。	継続	収納率 ①特別徴収 ②普通徴収 ③全体	目標	①100 ②87.38 ③98.80	①100 ②87.49 ③98.80	①100 ②77.60 ③98.80	①100.00% ②104.64% ③100.49%
						実績	①100 ②88.97 ③99.06	①100 ②91.55 ③99.28			

(3)介護給付費等の適正化

事業名	事業内容	令和元年度 実績			第8期の 方向性	目標活動指標				目標達成率	
		取組内容	評価	評価理由			H30	R1	R2		
② 要介護等認定事務の適切な実施	認定結果通知の遅れが生じないよう、申請を受けた際には申請者に対し、要介護等認定の申請をした旨を主治医へ報告するよう促し、円滑な認定事務に努めます。	今年度から遅延通知を発送したほか、同行調査で認定調査の指導を行いました。 対象者の心身の状態が安定しないことにより意見書の記載が遅延するケースの場合は、適切な時期に申請の案内を行いました。 申請者に対し要介護等認定の申請をした旨を主治医に報告するよう促しました。また、毎週金曜日と日程をきめて、医療機関に対し、主治医意見書の進捗状況の確認や催促を行いました。 令和元年度3月末時点の遅延率 29.2%、30日以内決定率 70.8%	A	様々な取組を実施し目標は達成しました。しかし、遅延率は前年度に比べ1.2%と上昇しました。特殊な要因として、令和元年度は、大型連休(GW)(5月)が連続して10日、年末年始(1月)は連続して9日あったことに加えて、新型コロナウイルスにより調査の遅延等(3月)もありました。それらの要因を排除した遅延率は平均して24.8%と大幅に減少しております。	継続	30日以内決定率	目標	70.0	70.0	70.0	101.14%
						実績	72.0	70.8			
③ 介護給付適正化事業	介護給付費等の適正化を図るため、不必要なサービスが提供されていないか検証し、適切なサービスが提供できるよう環境を整備します。	実地指導に同行するなどして、居宅介護支援事業所でケアプラン点検を実施しました。 ケアプランチェック件数 160件 給付費通知の発送 4回 (1回につき3か月分通知)	B	ケアプラン点検の実施率は約72.7%と、目標を達成していませんが、前年度を上回ることができました。 給付費通知については、予定通り発送でき、介護給付費等の適正化に努めることができました。	継続	ケアプラン点検数	目標	220	220	220	72.73%
							実績	128	160		
						給付費通知実施回数	目標	4	4	4	100.00%
							実績	4	4		